

愛知県住生活基本計画2025



平成29年3月

 愛知県

はじめに

わが国が本格的な人口減少・高齢社会に突入し、若者を中心とした東京圏への人口集中が続く中で、本県は自然増・社会増の両方を維持しながら人口増加を続けている数少ない県であります。グローバル経済の進展などにより、世界規模での大都市圏間競争が激しさを増す中においては、日本一の産業県として高いポテンシャルを持つ愛知が先頭に立ち、日本の活力を取り戻す核とならなければなりません。

2027年に予定されているリニア中央新幹線の東京－名古屋間の開業によって、首都圏から中京圏に及ぶ人口5千万人規模の大交流圏が誕生することとなり、本県はそのインパクトを最大限生かしていく地域づくりが必要です。住まい・まちづくりにおいては、強い経済基盤を背景として、大都市圏にありながら自然豊かでゆとりある住環境が形成されており、三大都市圏の中でも、働きやすく住みやすい、バランスのとれた「住みやすさ」が本県の大きな強みであります。

こうした背景を踏まえ、今回策定した「愛知県住生活基本計画2025」は、「『安全・安心』に暮らす」、「住まいを『未来』へつなぐ」、「あいちの『魅力』を高める」を基本的な方針として、県民、地域団体、NPO、住宅関連事業者、建築関係団体、公的団体、行政など、本県の住生活に係わるすべての方々が、それぞれの立場で役割を果たしつつ、相互に連携・協力し、より良い住まい・まちづくりの実現に取り組むための指針となるものです。

本県では、この計画で示した住まいとまちの将来像の実現に向けて、全力を尽くしてまいります。県民のみならず、関係する全ての方々におかれましては、今後とも計画の推進に一層の御理解と御協力を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

2017年3月



愛知県知事 大村 秀章

目次

第1章 計画の背景と目的	1
1 計画策定の背景	2
2 計画の目的	2
3 計画の位置づけ	3
4 計画の期間	4
5 計画の構成	4
第2章 住まい・まちづくりの現状と変化	5
1 南海トラフ地震をはじめとした自然災害	6
2 人口・世帯数の推移と将来推計	9
3 住宅ストックの状況	15
4 空き家の増加	18
5 住宅におけるエネルギー消費の増加	19
6 地域の課題への対応	20
7 リニア開業の影響	25
第3章 住まい・まちづくりの基本的な方針	27
1 愛知県における住まいとまちの将来像と課題	28
2 住まい・まちづくりの基本的な方針	35
3 計画の推進体制	36
第4章 住まい・まちづくりの基本的な方針に基づく施策の展開	37
I 「安全・安心」に暮らす	38
II 住まいを「未来」へつなぐ	45
III あいちの「魅力」を高める	50
第5章 計画の効果的な推進に向けて	55
1 計画の継続的なモニタリング	56
2 各主体の役割	56
3 計画推進のための横断的視点による取組イメージ	58
第6章 住宅の供給等及び住宅地の供給を重点的に図るべき地域	61
1 基本的な考え方	62
2 住宅の供給等及び住宅地の供給を重点的に図るべき地域	62
用語解説	69

